

登録コード	UAJ06500	開講年度	2026				
授業題目	商法学					担当教員	寺前 慎太郎
						副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・法学, 2 4 UAカリ・総人社・法学, 2 3 UAカリ・総人社・法学						
	【法学】法学分野の高度な知識を身に付け、法を解釈適用できる能力を有する。					商法（特に会社法）の分野の高度な知識を身に付け、個別具体的な事案に対する妥当な解決策を導くことができるようになる。	
(2)授業の概要	本講義は、会社法の中でも、コーポレート・ガバナンス、コーポレート・ファイナンス、計算・開示、組織再編・M&Aという4分野について解説を行う。個々のルールの学習を通じて、「会社法の主な目的は、会社の利害関係者間で生じる利害対立の調整である」ということの意味を理解してもらうことが本講義のねらいである。 各回の講義では、その回のテーマに関する会社法の基本的なルールを簡単に確認したうえで、理論的あるいは実務上重要度の高い問題について検討する。こうした検討は、受講生間での意見交換を中心に進める。なお、テーマによっては、関連する外国法のルールにも言及することがある。 遠隔授業は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業の形式で実施する。詳細については、メールなどで事前に案内する。						
(3)授業計画	第1回：イントロダクション、総論 第2回：コーポレート・ガバナンス（1）：株主・株主総会 第3回：コーポレート・ガバナンス（2）：株式会社の機関設計、監査役（会）設置会社 第4回：コーポレート・ガバナンス（3）：委員会型の機関設計 第5回：コーポレート・ガバナンス（4）：役員・会社間の利益相反への対処 第6回：コーポレート・ガバナンス（5）：取締役の責任 第7回：コーポレート・ファイナンス（1）：株式の発行 第8回：コーポレート・ファイナンス（2）：新株予約権の発行 第9回：コーポレート・ファイナンス（3）：社債の発行 第10回：計算・開示（1）：資本制度・剰余金の分配 第11回：計算・開示（2）：金融商品取引法に基づく開示 第12回：組織再編・M&A（1）：組織再編・公開買付規制 第13回：組織再編・M&A（2）：利益相反性の高い組織再編・M&Aに関する諸問題 第14回：組織再編・M&A（3）：閉鎖的な会社での組織再編・M&A 期末試験の有無 無 レポート課題の出題時期や提出期限等については初回イントロダクション又はeALPSにおいて適宜周知する。						
(4)成績評価の方法	平常点（20％）とレポート（80％：中間と期末の2回を予定）による。						
(5)成績評価の基準	会社法の構造や問題点に関して正確な理解が示されていれば「水準にある」、正確な理解を踏まえたうえで自らの見解を述べることであれば「やや上にある」、その見解が法的な視点から優れていれば「かなり上にある」、それに加えて政策的な妥当性も伴ってあれば「卓越している」。						
(6)事前事後学習の内容	開講後に指示する教科書や参考文献の該当箇所を事前に読んでおくこと。（2）に記載したように、ほぼ毎回受講生間での意見交換を予定しているため、講義前の段階である程度の理解度は必要となることに注意されたい。						
(7)履修上の注意	民事法一般（民法、民事訴訟法、倒産法など）に関する基本的な理解が必要になる。関係科目の履修はもちろんのこと、必要に応じて関連法分野の知識を自習することを強く推奨する。関連知識が不十分なことから生じるリスクには一切配慮しない。						
(8)質問、相談への対応	基本的には、講義終了後の時間に受け付ける。メールでの問い合わせも随時受け付ける。						
【教科書】	開講後あらためて指示する。						
【参考書】	開講後あらためて指示する。						